

# <真剣味>60

2016. 10. 12

3年生の最後の大会が終わって約2ヶ月。下級生は9月25日(日)からスタートした新人戦に向けて、リーダーを中心に頑張って練習してきました。私自身、過去2度の挑戦で一度も勝利していません。だからとにかく今年は勝ちにこだわり続けました。2ヶ月の練習でどんな試合になるか分かりませんでしたが、何とかチーム力で勝負してみました。

## 新潟ブロック新人大会

対新潟西シニア 5対3勝ち

初回、一番バッター、しかも初球にレフトオーバーの3塁打を打たれた時には、どうなるかと思いましたが、何と1点で終わることができました。その後、4回には2死2塁からセンター横にヒットされ加点されました。このままだと嫌な流れになるところ、その裏に4番打者のうまい走塁でチームとしては久しぶりの得点1点を取ることができました。これでまだまだという気持ちにもなれ、6回には怒濤の7連打に繋がったのだと思います。

- ・バッテリーの配球が途中から良くなかった。ヒットのわりに連打が少なかった。
- ・エラー0
- ・四球2個
- ・攻撃面では6回のワンチャンスに集中できた。

対柏崎シニア 1対8負け

昨年の新人戦で、逆方向への攻撃を意図的にやられた思いがあります。それもあり今年は同じことをやられないようにと思い試合に臨みました。

初回の攻撃で一番が出て、二番が送る。練習を積んできた一死・二死二塁からの攻撃。上手く機能して先取点を上げることができました。ただ、これ以降は相手投手の緩急を生かした投球に思い通りのBattingができず、加点できませんでした。守りではキーになる3回に連打され、大量失点につながりました。相手打者に思い通りのスイングをされてしまいました。

- ・Battingではうまく“間”がとれていなかった。
- ・スイングがぬるかった。

エラー1、四球0、三振3、フライアウト5!!

- ・投手のストライクを取るボールが甘かった。打たれた後、うまく適応できなかった。
- もっとフォア・ザ・チームを大切にし、徹底する。
- 勝つことにもっと貪欲になる。
- 下半身を使った、守備・打撃を徹底練習する。
- Battingの間を身につけ、鋭いスイングで、仕留める。
- 勝てないチームが勝つため、爆発的な力を身に付ける。

△勝つときには接戦、負ける時には大差、こんな試合をするチームはまだまだ力がついていない証。我がチームはまだまだこれからの中。一歩一歩進んでいきます。

ここで2016年の公式戦は終了しますが、課題が山積みです。冬が来てからゆっくり鍛えようではなく、今年は冬が来る前にスタートします。そしてひとつひとつ課題を解決し、春を迎える頃には選手の目の色、さらには体格にも大きな変化が見られるはずです。そしてプラス思考の集団に進化していることを楽しみにしています。

## 3年生引退試合

10月15日(土)白根野球場で実施します。

3年生には、是非この最後の試合を精一杯取り組んでもらいたい。そのことが、これまで協力してくれたお家の方への感謝に繋がるはずです。またこれから自分の進路の再確認にもなるはずです。

もしかして一生の友になるかもしれない江南シニアの仲間と最後の協力ができる試合になります。とにかく結果にこだわらず、ノビノビした中で、元気溢れるプレーを見せてください。